

鳥信 WEB 版 2022 年 1 月号

＜筑後エリア＞

*** 2021 年 11 月 22 日 メジロガモ・みやま市高田町 石橋(信)**

高田町に 3 日間、今年春に中央アジア？に帰る途中に立ち寄ったメジロガモでしょうか？冬は何処で越冬するのか旅の途中に又立ち寄ってくれました。1 年に 2 回見られるとは思わず嬉しかったです。



△メジロガモ♂ 撮影：石橋(信)

*** 2021 年 11 月 25 日 ツグミ*3・久留米市中央公園 野田(敦)**

芝生広場にツグミが 3 羽いました。初認です。

広場の科学館側にカフェと駐車場をつくるため工事中ですが、大きな木が切られそうで心配です。

29 日、カワラヒワの群れの中にアトリが 1 羽いました。シロハラ、ツグミは高い木の上に隠れています。

30 日、五穀神社の池の松の木に、チーッと甲高く鳴いてカワセミが飛んで来ました。曇天のせいか、ブルーの背中よりもオレンジ色の脚がとても綺麗に見えました。

*** 2021 年 11 月 27 日 ヘラサギ*1・筑後広域公園 江口浩喜**

池で餌を採っていました。



△ヘラサギ 撮影：江口

*** 2021 年 12 月 4 日 オカヨシガモ、カルガモとマガモの交雑個体？・筑後広域公園 江口浩喜**



△オカヨシガモ♂ 撮影：江口



△マガモ×カルガモ交雑個体(通称：マルガモ) ♂ 撮影：江口

***2021年12月6日 ベニマシコ*♂1♀1、クイナ*1・久留米市合川町河川敷 野田(敦)**

ベニマシコが来てるよと連絡があってから2週間。今日ようやく見つけました。大きな樋門近くの葦原にいて、堤防工事の機械音に混じりながら、ピッ・ポッと可愛く鳴いていました。やっと会えてひと安心です。

クイナの情報も聞いていたので、小さい樋門にはソッと近づきました。以外にも橋のすぐ下にいて写真も撮れました。ここでクイナを観たのはもう何年も前だったので嬉しかったです。

***2021年12月12日 クイナなど・久留米市合川町河川敷 怡土秀子**

風の冷たい朝、ゆめタウン下の河川敷に、行きました。水路には、いつものキセキレイ。しばらくするとクイナが現れびっくり。ここは以前ヒクイナの埒。水路の中を小さな虫や草の種を探しながら、どんどん橋の下までやってきます。私達に気がついたのか、急に走り出し、その1歩の大きい事、早いですね。他にはジョウビタキ、アオジ、モズなどがいました。



△クイナ 撮影：怡土

***2021年12月12日 ミサゴ・小郡市 西本**

本日の夕方 5 時過ぎ、散歩中に近所の池で鳥を見かけましたが、距離も遠く、何分暗かったため、鮮明な写真を撮れませんでした。頭と胸は白く、背中黒っぽく見えたのですが、目の周りがパンダのように黒いのが印象的でした。おなかが白いのはミサゴの特徴のようですが、目の周りはちょっと違う感じもします。



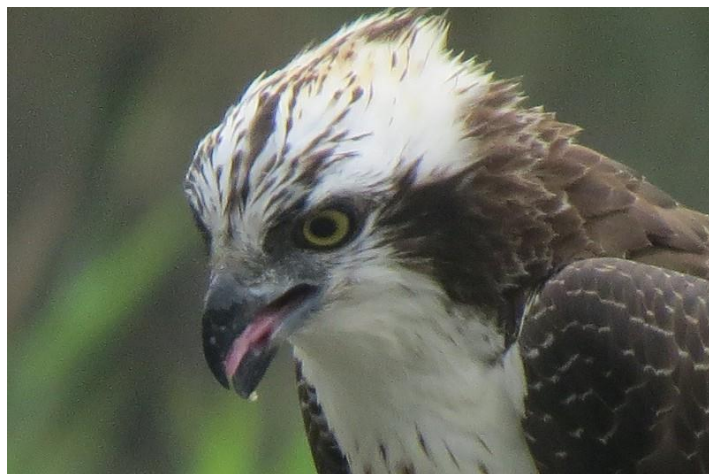
△ミサゴ 撮影：西本

注) ミサゴの顔の模様について (池長)

西本さんは、この個体の顔つきに違和感を持たれたようですが、ネットで検索すると様々なミサゴの顔の画像がありました。撮影された個体は少し白黒のコントラストが強いミサゴだったようです。



左 撮影された個体(部分拡大)



右 ミサゴの横顔(ネット上からの画像を反転させたもの)



△ミサゴ 撮影：西本

<近隣エリア>

*** 2021 年 10 月 9 日 アカモズ・佐賀空港 石橋(信)**

東与賀干潟の探鳥の帰りに立ち寄った佐賀空港で初見のアカモズ♀に出会いました。
一週間後再び同場所付近を 1 日中探しましたが見つからず、残念でした。
東アジアに帰る間の休息でしょうか？又来年の春に番で来てくれる事に期待します。



△アカモズ♀タイプ 撮影：石橋(信)

*** 2021 年 11 月 17 日 ウミネコ・有明フェリー 松富士将和**

16、17 日と天草から島原・雲仙の旅行の帰りの多比良～長洲のフェリー上で数羽のカモメが飛び交い、時々1、2羽が船に近づいてきました。中間点を過ぎると海上に 50 羽くらいが浮いていましたが、皆ウミネコの様で、ユリカモメはいませんでした。



△ウミネコ 撮影：松富士

***2021年11月28日 山神ダム(筑紫野市)の冬鳥 野田(美)**

そろそろルリビタキに会いたいと思い、11月28日(日)に山神ダムに行ってきました。

早々にルリビタキの♂が目の前に現れ、じっくり観察させてくれました。ミソサザイの地鳴きが聞こえ、しばらく待ってみると姿を現してくれました。今年は、山神ダムや花立山でミソサザイを見かけることが多いような気がします。皆さんはどうでしょうか。その他、ミヤマホオジロ、アオジ、ウソ(声のみ)などを確認しましたが、ベニマシコは確認できませんでした。



△ルリビタキ♂ 撮影：野田(美)



△ミソサザイ 撮影：野田(美)

***2021 年 12 月 9 日 クロハゲワシ*1・佐賀市大授掬 江口浩喜**

田んぼの中にポツンといました。でかいです。双眼鏡もカメラも持っていなかったのですが、肉眼でも遠くからすぐそれとわかりました。

飛ぶ様子もなく、キョロキョロしているだけでした。

カメラマンも平日というのに 20 名ほどいました。土日はもっと増えるのではと思います。

注) 佐賀県のクロハゲワシについて (池長)

佐賀県のクロハゲワシは 2015 年 1 月に鳥栖市で記録されたのが初記録とされています。

2021 年には 9 月 27 日に伊万里市黒川町の大平山で飛翔する個体が観察され、佐賀新聞に掲載されています。

<https://www.saga-s.co.jp/articles/-/753044>

そして、その翌日には、長崎県佐世保市の冷水岳でも飛翔するクロハゲワシが観察・撮影されており、これは同一個体の可能性が考えられます。

今回、佐賀市で観察されて個体についても佐賀新聞に掲載されています。

<https://www.saga-s.co.jp/articles/-/779607>

9 月に観察された個体と同一かどうかはわかりませんが、記録としては 3 例目になるようです。この個体は 12 月 4 日ごろより確認され、10 日間ほど滞在したようです。確認された当初は非常に衰弱しており、飢餓状態だったと考えられています。日本野鳥の会佐賀県支部の方たちの保護活動により体力を回復したのか、その後、いずこへともなく渡去した模様です。無事に九州のどこかで越冬していることを祈るばかりです。

なお、写真は日本野鳥の会佐賀県支部のホームページより「干潟情報」をクリックすると見られます。

<https://www.yacho-saga.org/>

(ネットの URL はいずれも 2021 年 12 月時点)